


The Chiba Method Will be Walking Together with People of the Prefecture for Our Goal




Project Brama

—第5回千葉県立病院将来構想検討会—

**東金病院、佐原病院周辺の
地域医療体制の状況について**

平成20年10月17日
千葉県健康福祉部




2010年 ゆめ半島千葉県
マスコットキャラクター「チーパくん」

All Rights Unreserved, Copyrights Chiba Prefecture, Department of Health and Welfare

1

The Chiba Method Will be Walking Together with People of the Prefecture for Our Goal




Project Brama

本日の内容

- 県立病院が担う役割
- 循環型地域医療連携システム
- 二次保健医療圏の状況
 - ・ 山武長生夷隅保健医療圏
 - ・ 香取海匝保健医療圏
- 今後の再編に向けて(ポイント)

資料編



2010年 ゆめ半島千葉県
マスコットキャラクター「チーパくん」

All Rights Unreserved, Copyrights Chiba Prefecture, Department of Health and Welfare

2



県立病院が担う役割

千葉県保健医療計画(平成20年4月)抜粋



県立病院が担うべき政策医療①

- ・ 「循環型地域医療連携システム」を補完・拡充する機能
- ・ 全県的見地で整備すべき全県(複数圏域)対応型医療機能
- ・ がんや循環器などの高度専門医療の最後の砦
- ・ 三次救急医療など全県下(複数圏域)を対象とした医療体制の整備
- ・ 高度専門的見地から地域の医療機関への支援
- ・ 今後の医療のモデルとなるべき先進的な取組み





県立病院が担うべき政策医療②

- 先端・高度専門的ながん医療と研究
- 高度専門的な循環器医療
- 高度専門的なこども医療と周産期医療・女性医療
- 高度専門的なリハビリテーション医療
- 全県(複数圏域)を対象とした救急医療
- 全県(複数圏域)を対象とした精神科医療
- 県全体の医療の質の向上のための人材育成機能



県立病院が担うべき政策医療③

(参考)

- 二次保健医療圏で完結する一般的な地域医療については、全県的見地からの対応ではなく、地域の実情を踏まえた医療提供体制を整備していく必要があることから、地域の民間病院や市町村等が担うことが重要
- これまで県立病院が担ってきた地域完結型の一般医療については、県民の理解を求めながら、地域の実情に応じて小回りのきいた医療サービスが提供できるよう地域の自治体等が中心となり、新たな医療提供体制の枠組みへの再構築を進めることとします。





循環型地域医療連携システム

千葉県保健医療計画(平成20年4月)抜粋



喫緊の課題としての地域医療連携①

- ・「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」の4疾病並びに
- ・「救急医療」「災害時における医療」「周産期医療」「小児医療(小児救急医療を含む)」の4事業について
- ・急性期から回復期、在宅に至る医療機関の治療と保健・福祉サービスを連動させる「循環型地域医療連携システム」を二次保健医療圏毎に構築し、医療従事者並びに地域住民の方に示します。



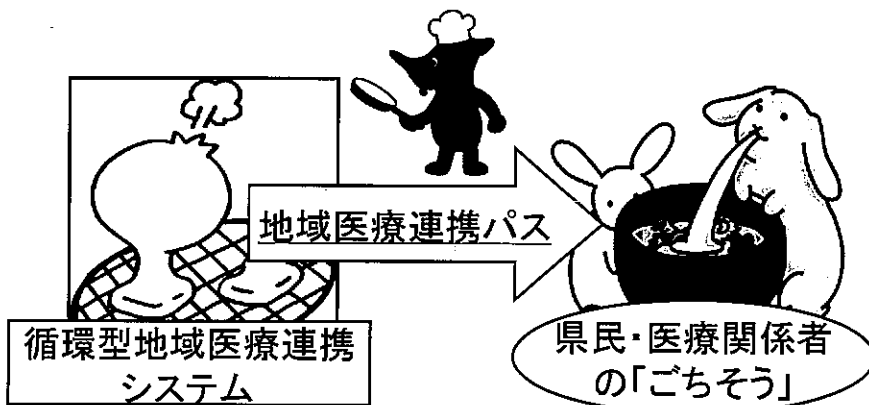


喫緊の課題としての地域医療連携②

- ・「循環型地域医療連携システム」は原則として二次保健医療圏内で完結することを目指す
- ・全県下1箇所または数箇所程度の配置で対応可能と考えられる医療機能を有する医療機関として、全県(複数圏域)対応型連携拠点病院を想定
- ・専門医や高額医療機器等の重複配置を避け、医療機能の集中化を図り、効率的な医療を提供
- ・全県(複数圏域)対応型連携拠点病院は、当該疾病等に関する専門的な助言・指導を行う機関として位置付け



「絵に描いた餅」から「ごちそう」に





地域医療連携パスの構築

- 地域医療連携パス作成への取り組み
- ・二次保健医療圏ごとに病院の地域連携室等の担当者会議を開催(全9圏域)
- ・保健医療圏別・疾病別「地域医療連携パス」の使用状況調査
- ・既に「地域医療連携パス」を運用している病院から、共用モデルに関する意見の聞き取り



全県共用「地域医療連携パス」の作成・普及

- 意見・提案を踏まえた考え方
- ・4疾病ごと、二次保健医療圏ごとに共用モデルを作成するため、会議等により意見交換を実施しましたが、寄せられた意見や提案を踏まえ、
医師会、千葉大学、地域の病院等とともに4疾病ごとの全県共用「地域医療連携パス」の作成・普及を目指します。





循環型地域医療連携システムのイメージ図

二次保健医療圏の状況

千葉県保健医療計画(平成20年4月)抜粋

- ・山武長生夷隅保健医療圏
- ・香取海匠保健医療圏

資料編



千葉県自治体病院支援対策本部の設置

○対策本部の設置時期:平成20年9月1日

○対策本部の構成

- ・本部長:知事、副本部長:両副知事、本部員等:総務部長、健康福祉部長、病院局長等10名

○対策本部の主な業務

- ・自治体病院の経営状況や医師・看護師の確保状況等の実態調査
- ・各自治体病院の状況に応じた、地域の医療資源の活用や機能分担、医療機関相互のネットワークの構築等を検討を踏まえ、各自治体・自治体病院・関係団体と連携して取り組む。





今後の再編に向けて(ポイント)

- ・山武長生夷隅保健医療圏
- ・香取海匝保健医療圏



山武長生夷隅保健医療圏

- 医療資源
 - ・同規模の病院が並立している
 - ・救命救急医療機関がない
(二次輪番制の危機的状況、夜間救急の管外搬送の増加)
 - ・回復期リハビリテーション対応医療機関がない
 - ・慢性的な医師不足
(若手医師のスキルアップが可能となるよう千葉大学と連携できる
病院の整備)
- 役割分担
 - ・地域完結型の医療提供体制の確立
 - ・九十九里地域の医療センター構想





九十九里地域の医療センター構想①

- H17.3.24: 第4回基本計画策定委員会
 - ・整備・運営についての基本方針作成(1市8町村で整備・運営)
- H17.10.28: 第6回基本計画策定委員会
 - ・事業主体を行政組合に決定
- H18.4.5: 中央病院開設許可を取得
- H19.2.13: 関係市町長会議
 - ・修正案を一部修正(成東病院150床)合意
- H19.6.16: センター長人選に関する県との協議
 - ・センター長の人選を千葉大学に要請



九十九里地域の医療センター構想②

- H20.2.15: 山武郡市広域行政組合関係市町長会議
 - ・(仮称)九十九里地域医療センター構想を断念
- H20.2.26: 知事と1市2町(東金市・大網白里町・九十九里町)の首長面談
 - ・合意できる市町だけでも構想を進めたい
 - ・引き続き千葉大学にセンター長の推薦を願いたい
- H20.6.13: 大網白里町議会
 - ・準備会経費等に係る予算を否決、特別委員会を設置
- H20.10.6: 大網白里町臨時議会
 - ・シミュレーションの予算を否決





香取海匠保健医療圏

○医療資源

- ・同規模の病院が並立している
- ・地域医療の拠点である佐原病院と小見川総合病院が周産期医療、夜間小児救急医療を休止している
- ・回復期リハビリテーション対応医療機関がない
- ・慢性的な医師不足
(若手医師のスキルアップが可能となるよう千葉大学と連携できる病院の整備)

○役割分担

- ・佐原病院と小見川総合病院の医療機能に関する勉強会
- ・旭中央病院との圏域内における役割分担の確立
- ・東総地域医療協議会

